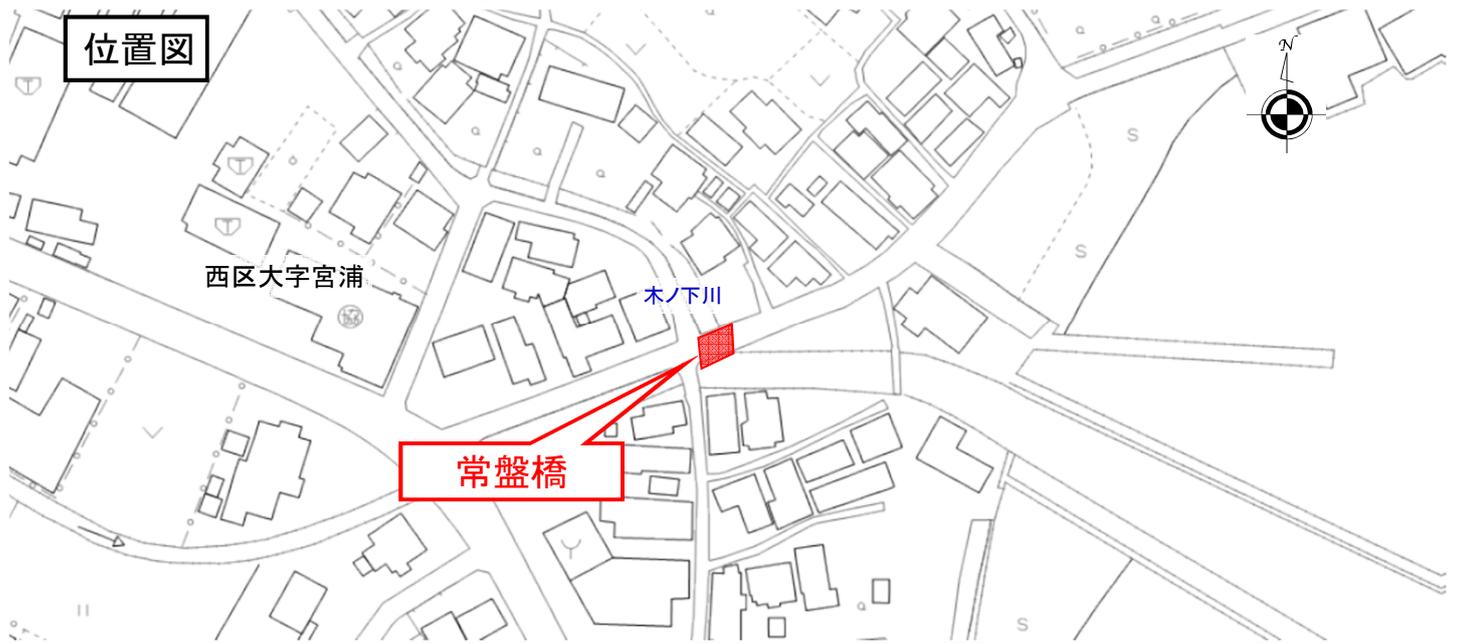


## 6. 常盤橋

常盤橋は、西区大字宮浦に位置する木ノ下川に架かる橋です。  
橋の長さは5メートル、幅は6メートル、橋が完成したのは昭和41年です。

### 位置図

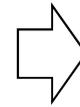


### 【修繕概要】

コンクリート表面に含浸材を含浸させて、コンクリートへの塩化物イオンの侵入を抑制しました。（表面含浸工）



【修繕前】



【修繕後】

### 【修繕手順】

橋梁のコンクリート表面部に含浸材を塗布します。まず、既設の被覆材の削り取りを行いました(写真①)。次に、下地処理及び清掃を行いました(写真②, ③)。十分に乾燥を行った後、含浸材を塗布して完了です(写真④, ⑤)。

この含浸材は、表面被覆工とは異なりコンクリート表面に被覆層を設けないため、構造物の外観を変えることなく、以後のモニタリングが容易であるという利点があり、適用される事例が増加しています。



①【床版部 被覆材の除去】



②【下地処理】



③【高圧洗浄】



⑤【完了 床版部】



④【含浸材塗布】